

# 2024年 中学生地球市民会議 (実施計画)

2024年8月23日 更新  
NPO 法人 スプラタルカ

## 趣 旨

本会議を通して、参加国の中学生が相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解や同世代の連帯を図る。さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

## 地球市民会議 詳細

### 会議の運営

主催：NPO 法人 スプラタルカ

### 開催期日

2024年10月14日（月）

日本時間 14:30 – 16:30

台湾 13:30 – 15:30

インドネシア 12:30 – 14:30

会議参加者（3カ国） \* 各国の希望者10名～40名程度 \* 中学生相当

① 日本（沖縄）： 沖縄在住の中学生

② 台湾（台南市）： 新東國民中學（Sindong JHS）生徒

<https://www.sdjh.tn.edu.tw/index.php>

③ インドネシア（ジョグジャカルタ）： SMP Negeri 2 Yogyakarta 生徒

<https://smpn2yogya.sch.id/>

会議内容 テーマ：

「**私たちが望む、10年後のアジアの姿**」

"Our expecting images of Asia in 10 years"

同じアジア人として、お互いが関わり合いながら作り上げたい10年後の姿を、具体的イメージとして紹介しあいます。

## 会 場

日 本： 嘉手納町比謝川自然体験センター

台 湾： 学校内会場

インドネシア：学校内会場

参加費 無料

### 会議形式

- ビデオ通話を使った同時中継（大型スクリーンに映す）。
- 会場を解放し、保護者や見学者は会議を自由に見学できる。（日本側）

### 地球市民会議のプログラム構成

\* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:30-14:32 (2分)	Ice Break! <参加者全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。 *全員で復唱する。
学校紹介	14:33-14:45 (9分) 各3分×3	学校の紹介 (日本、台湾、インドネシアの順) <各国担当者>	各学校の紹介を行う。 ● 発表担当者(分担可能)が、発表する。 ● クイズ形式でもよい。 ● 他の国の生徒は、質問できる。 ● 日本側は、一般的な日本の学校の紹介を行う。(学校単位ではないから)
持ち物紹介	14:45-15:00 (9分) 各3分×3	学校で使っている持ち物の紹介(文化紹介) (日本、台湾、インドネシアの順) <各国担当者>	学校で日ごろ使っている物や道具をお互いに紹介する。 ● <u>バッグや教科書、ノート、体操服、美術作品など、お互いの文化の違いが伝わるもの</u> を紹介する。 ● 他の国の生徒は、質問する。
10年後のアジアの姿	15:00-15:45 (45分) 各15分×3	<b>「私たちが望む、10年後のアジアの姿」</b>  というテーマについての意見交換 <u>各国が、テーマに沿ったある分野について、具体的イメージ(姿)を紹介する。</u> (日本、台湾、インドネシアの順) <各国担当者>	<b>「私たちが望む、10年後のアジアの姿」</b> というテーマのもと、 <u>より焦点を絞った具体的分野</u> について紹介する。同じアジア人として、お互いが関わり合いながら、その分野について作り上げたい10年後の姿(イメージ)を紹介する。 <u>具体的分野</u> の例:「環境問題について」「ごみ問題について」「平和について」「文化の交流について」「人の交流について」「教育について」、その他

			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前にこのテーマについてワークシートに各自の意見（イメージ）をまとめておく。（事前準備）</li> <li>● 各国でまとめた <u>10年後のイメージ</u>を紹介する。</li> <li>● 写真や図、絵などの資料を見せながら分かりやすく説明する。</li> <li>● 事例は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。（スタッフが通訳する。）</li> <li>● 画面共有方式を使ってもよい。</li> <li>● 他の国の生徒は、そのイメージについて<u>質問や意見</u>を行う。</li> <li>● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。</li> </ul>
	15:50-15:55 (5分)	休憩	5分間の休憩
自由質問	15:55-16:25 (30分)	自由な質問 (自由に質問をしあう) <参加者全員>	<p>お互いが興味あることについて、自由に質問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>国を指定せず</u>、自由に質問を取る。</li> <li>● <u>質問内容は、特に制限しない。</u>(アニメ、アイドル、学校生活、休日の過ごし方、など)</li> <li>● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。</li> </ul>
あいさつの 終わりの あいさつ	16:28-16:30 (2分)	地球市民会議終了のあいさつ <各国のリーダー> <b>*ビデオ通話を終了</b>	<p>各国のリーダーが、会議終了のあいさつを行う。</p> <p>*ビデオ通話を切断する。</p>
	16:30-16:35 (5分)	休憩	5分間の休憩
全体のまとめ	16:35-16:55 (20分)	本会議のまとめ ( <u>国ごと別々に行う</u> ) 感想の発表とワークシート記入 <参加者全員>	<p>今日の会議について感想を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ワークシートに自分の感想をまとめる。</u></li> <li>● 今回の会議について、<u>参加者全員から</u>意見や感想を取る。</li> <li>● スタッフや見学者からも意見や感想を取る。</li> </ul>

お わ り	16:59-17:00 (1分)	国際会議終了あいさつ <全体司会者> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">*会議全体を終了</span>	会議の終了を伝える。  <span style="color: red;">*地球市民会議全日程終了</span>
-------------	---------------------	---	---

## 事前準備

1. **各自**、テーマ：「**私たちが望む、10年後のアジアの姿**」について考え、事前にワークシートに答えておく。
  - まず、自分が興味ある分野を考え、その分野において、「同じアジア人として、お互いが関わり合いながら作り上げたい10年後の姿」をイメージする。
  - 具体的分野の例：「環境問題について」「ごみ問題について」「平和について」「文化の交流について」「人の交流について」「教育について」、その他
  - 出来るだけ、具体的なイメージ（姿）を想像する。
  - 10年後の姿（イメージ）が実際に実現できるかどうかは、問わない。ただし、将来実現できるような提案形式を目指す。（実現の段階を示す）
  - 具体的イメージは、いくつあってもよい。
2. 各自が考えた具体的なイメージから、「日本側のイメージ」としてひとつにまとめる。
  - 各自が考えた具体的なイメージ（姿）を発表する。（全員）
  - それらのイメージ（姿）を全員で話し合い、テーマに適したものを、ひとつ選ぶ。
  - そのイメージ（姿）を発表するために資料を作成する。
  - そのイメージ（姿）を、出来るだけ具体的で、実現できるような形に仕上げる。
  - 分かりやすく説明するため、図や写真、ビデオ、手書きの絵なども利用する。
  - ファイル化して、画面共有方式でもよい。
  - 通訳を考え、資料は出来るだけ簡潔にまとめる。
  - 通訳等も考え、5分程度にまとめる。
3. 日本の学校の紹介資料を作成する。
  - 日本の学校を紹介する。参加者の学校が違うので、どのように紹介するかを話し合う。（発表者の学校の紹介、一般的日本の学校の紹介、など）
  - 写真や図を使って資料を作成する。
  - 2分弱の発表にまとめる。パネル5枚以内。（A3もしくはA4）
  - 完成した資料は、先に他の参加国とファイルを共有する。（会議の時間を節約するため）
4. **各自**、学校で日ごろ使っている持ち物を準備しておく。
  - お互いの文化の違いを紹介するという意味で、学校で日ごろ使っている持ち物を紹介しあう。
  - 例：バッグ、教科書、手書きのノート、筆箱の中、絵画作品、体操服、など。
  - どれを紹介するかを、みんなで話し合う。
  - 会議当日に、必要な道具を忘れずに持ってくる。
5. それぞれの発表役を決める。

- 学校紹介：複数名も可能。
  - 持ち物紹介：複数名
  - テーマに沿った 10 年後の姿（イメージ）：複数名も可能。
6. 通訳は、コミュニケーションの流れを理解しておく。
- 全員が同じスクリーンに登場し、音声も全員に聞こえるので、通訳は各国順番に行っていく必要がある。

### 交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

### 意思疎通の流れ

1. 意思疎通の流れは以下の通り。
  - 「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→
    - 「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」
    - 「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」
  - 「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→
    - 「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」
    - 「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」

### 補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

### 地球市民会議開催までの日程

募集期間： ～10月4日（金）

\*参加予定者は、研修前にワークシートに記入しておく。

\*ボランティアスタッフの募集も含む。

応募方法：オンラインフォーム形式

\*この QR コードから申し込み下さい。



\*申し込み用紙もしくはメールでの申し込みも可能です。

詳しくは <https://www.supratarka.org/int-conference> から資料をダウンロードしてください。

### 事前研修：

1. 第 1 回 10月6日（日）13:00 – 16:30 読谷村文化センター内
  - 参加者自己紹介

- 各自の意見（イメージ）発表
  - 意見（イメージ）のまとめ。具体的イメージの選択とその発展
  - 役割分担（資料作成、発表）
  - 発表資料作成（学校紹介、イメージ）
  - 相手校や地域の紹介
2. 第2回 10月14日（月）12:00 – 14:00 嘉手納町比謝川自然体験センター内
- 発表資料完成
  - 発表練習

\*事前研修前に食事を済ませておく。

\*事前研修後、休憩を取って、そのまま本会議となる。

**本会議：10月14日（月）14:30 – 16:30** 嘉手納町比謝川自然体験センター内

\*相手校は授業の一環なので、服装は制服とします。

### 寄付についてのご案内

NPO 法人スプラタルカは、会員の皆様の会費及び支援者の皆様の寄付を中心として運営しております。

プログラムに参加されたうえで、その価値や意義をご理解いただけた場合は、次回の参加者に向けたご支援のほどよろしくお願い致します。

### 問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

[info@supratarka.org](mailto:info@supratarka.org)

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

[https://www.instagram.com/supratarka\\_official/](https://www.instagram.com/supratarka_official/)

